

決算説明会

2017年(平成29年)5月18日

ネツレン

高周波熱錬株式会社



I 経営実績の推移

II 第13次中期経営計画の状況

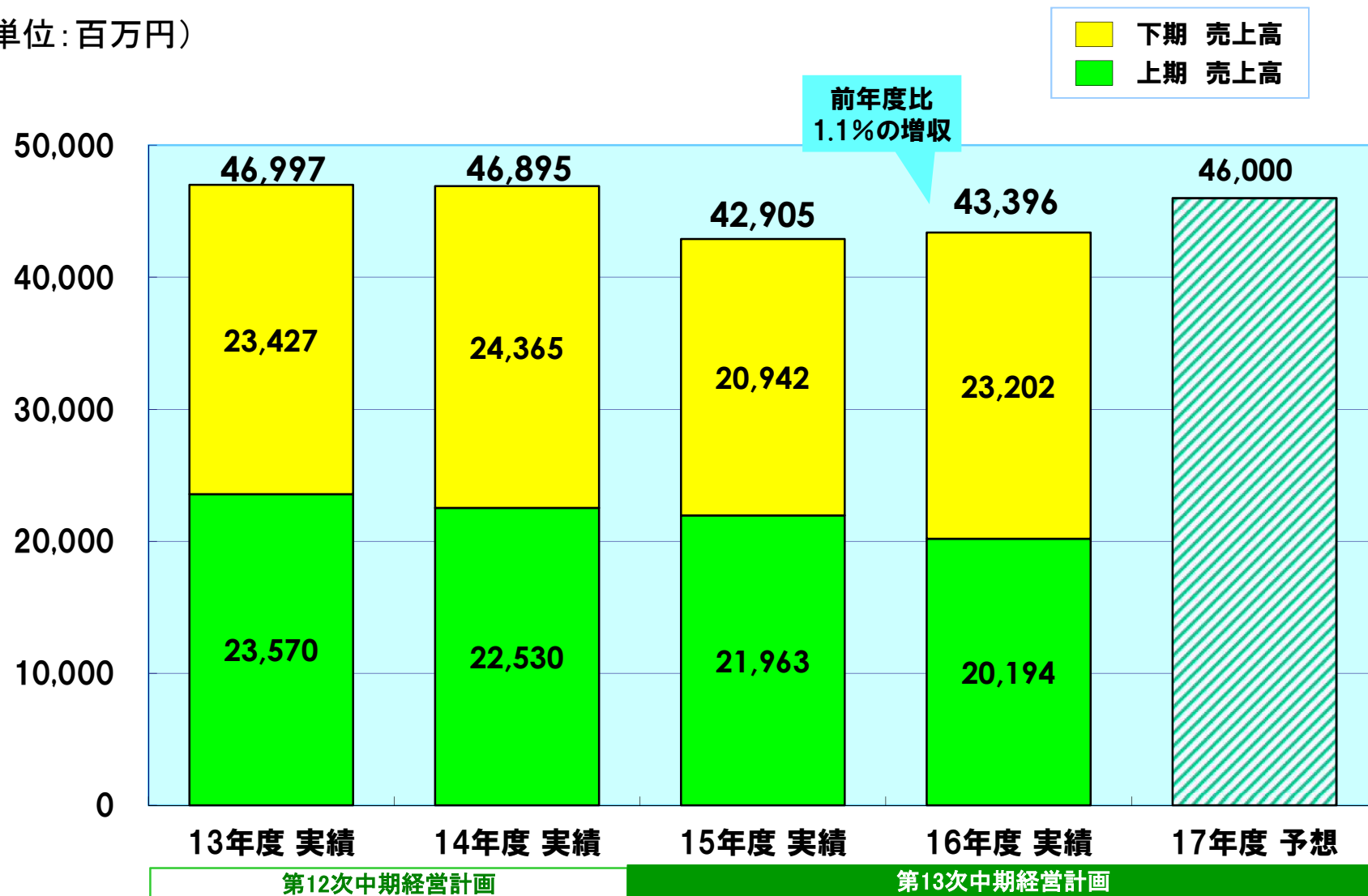
III 新商品・新技術の開発、新規事業の推進

IV 2017年(平成29年)3月期 連結決算の概要

1

連結売上高

(単位:百万円)

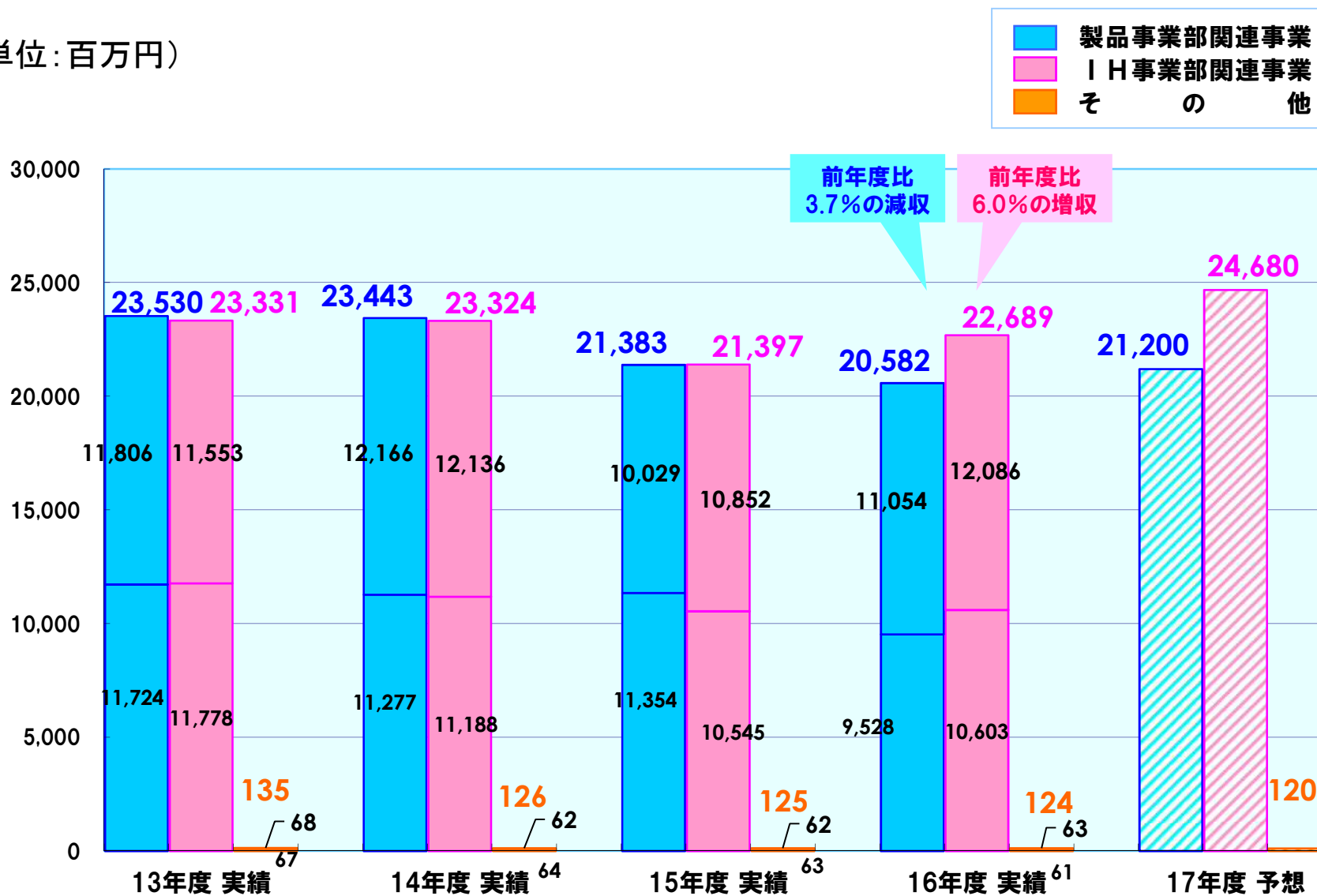


※換算レート
 ・16年度 1中国元=16.8円、1USDドル=116.5円
 ・17年度 1中国元=16.0円、1USDドル=110.0円

2

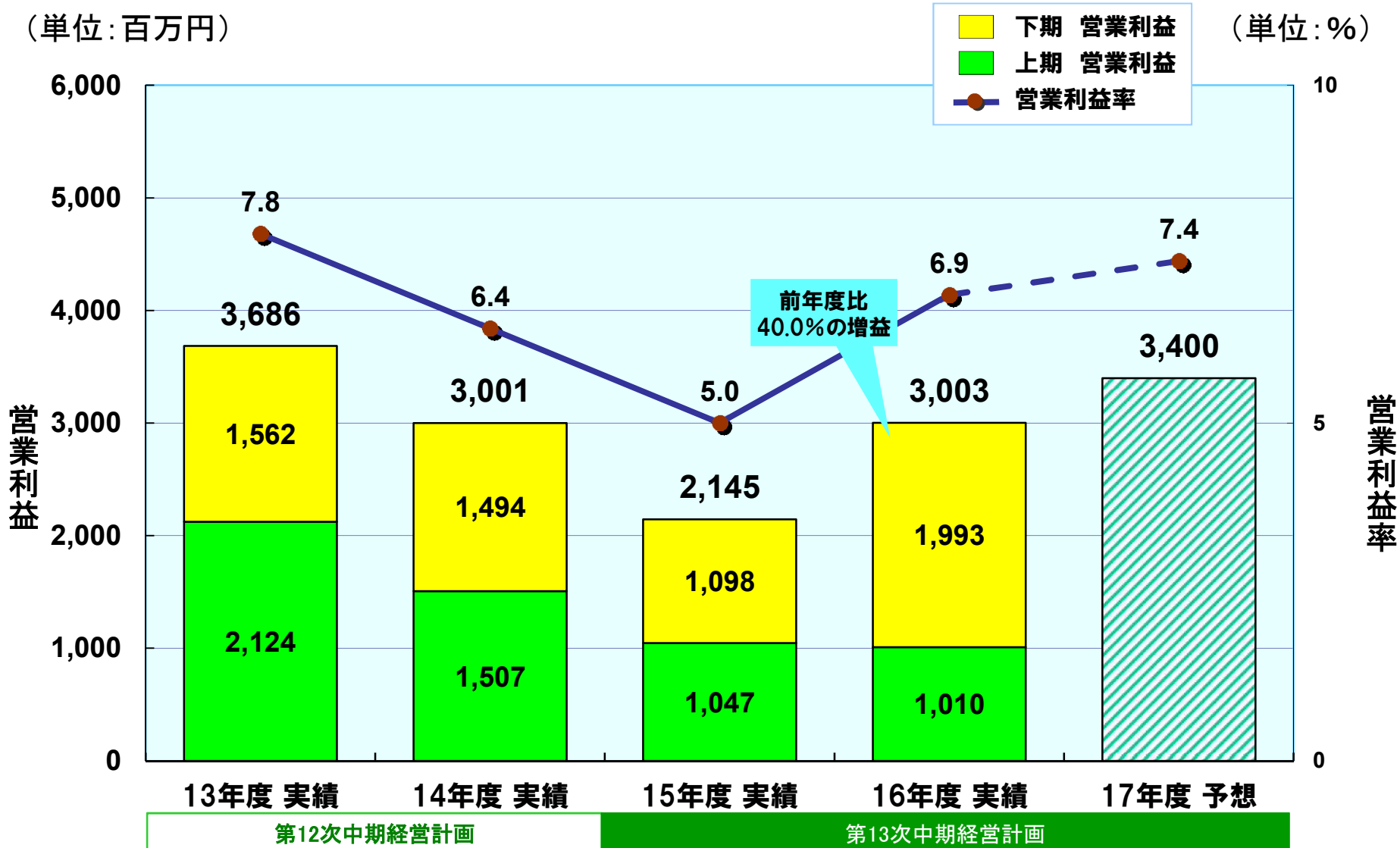
セグメント情報(連結売上高)

(単位:百万円)



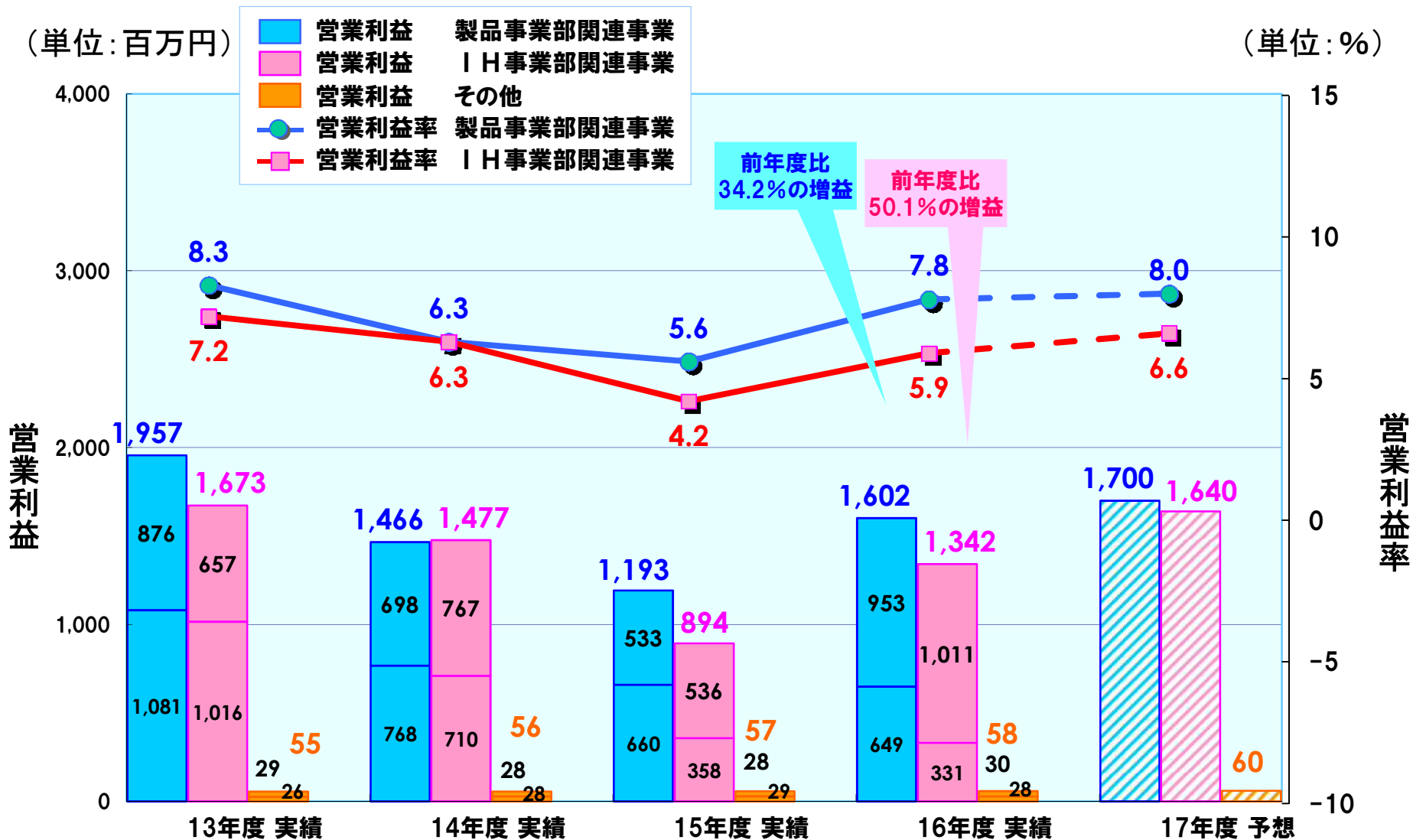
3

営業利益・営業利益率



4

セグメント情報(営業利益・営業利益率)



5

為替、資源・エネルギーの価格動向予測

1. 為替レート (2017年度予測)

1USD = 110.0円
1中国元 = 16.0円

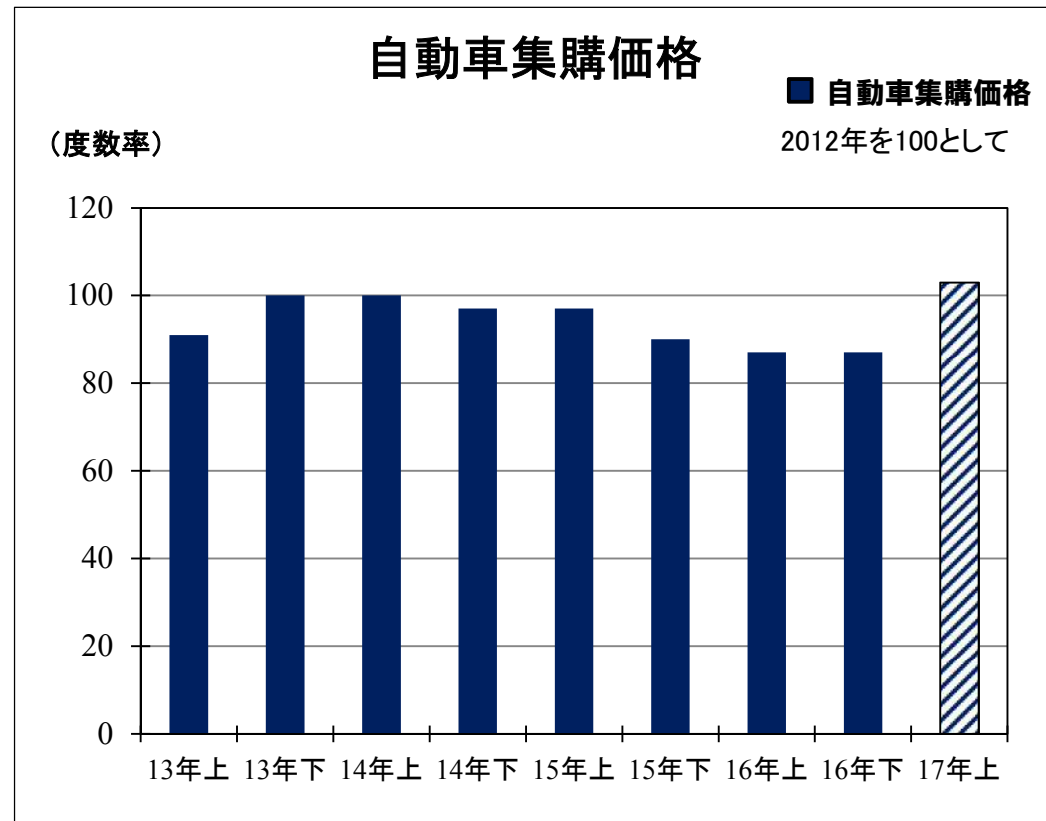
2. 鋼材価格・電力料金予測

(1) 鋼材価格

・自動車集中購買価格(集購)との連動性が強く、参考にしています。17年度は上昇していますが、まだ変動する可能性もあるため、変更しないこととしました。

(2) 電力料金予測

・電力各社の値上がりは予測されますが、未確定のため、16年度レベルとしました。

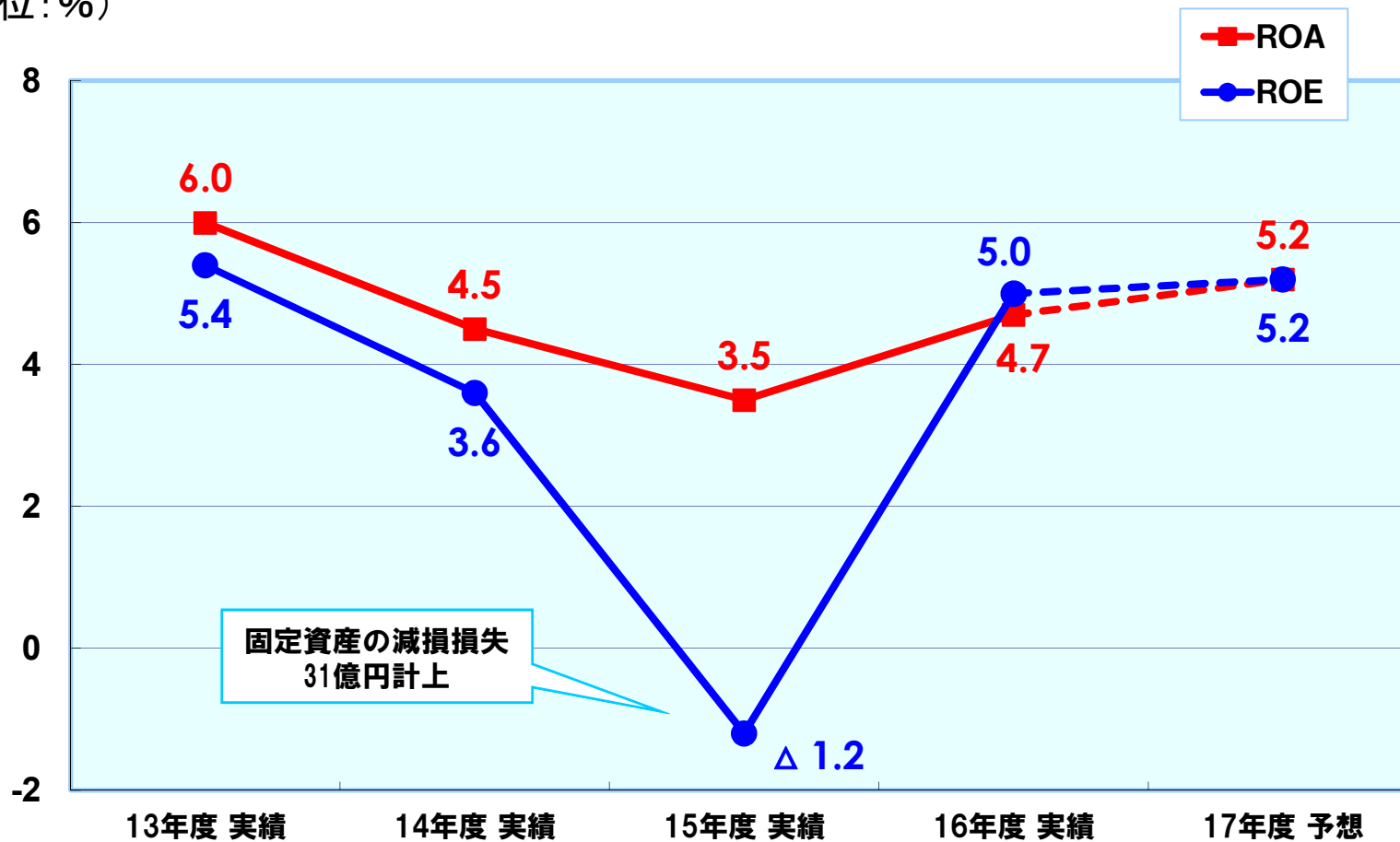


出典：新聞の集購関連記事に記載された数値から弊社推測による。

6

ROA・ROE

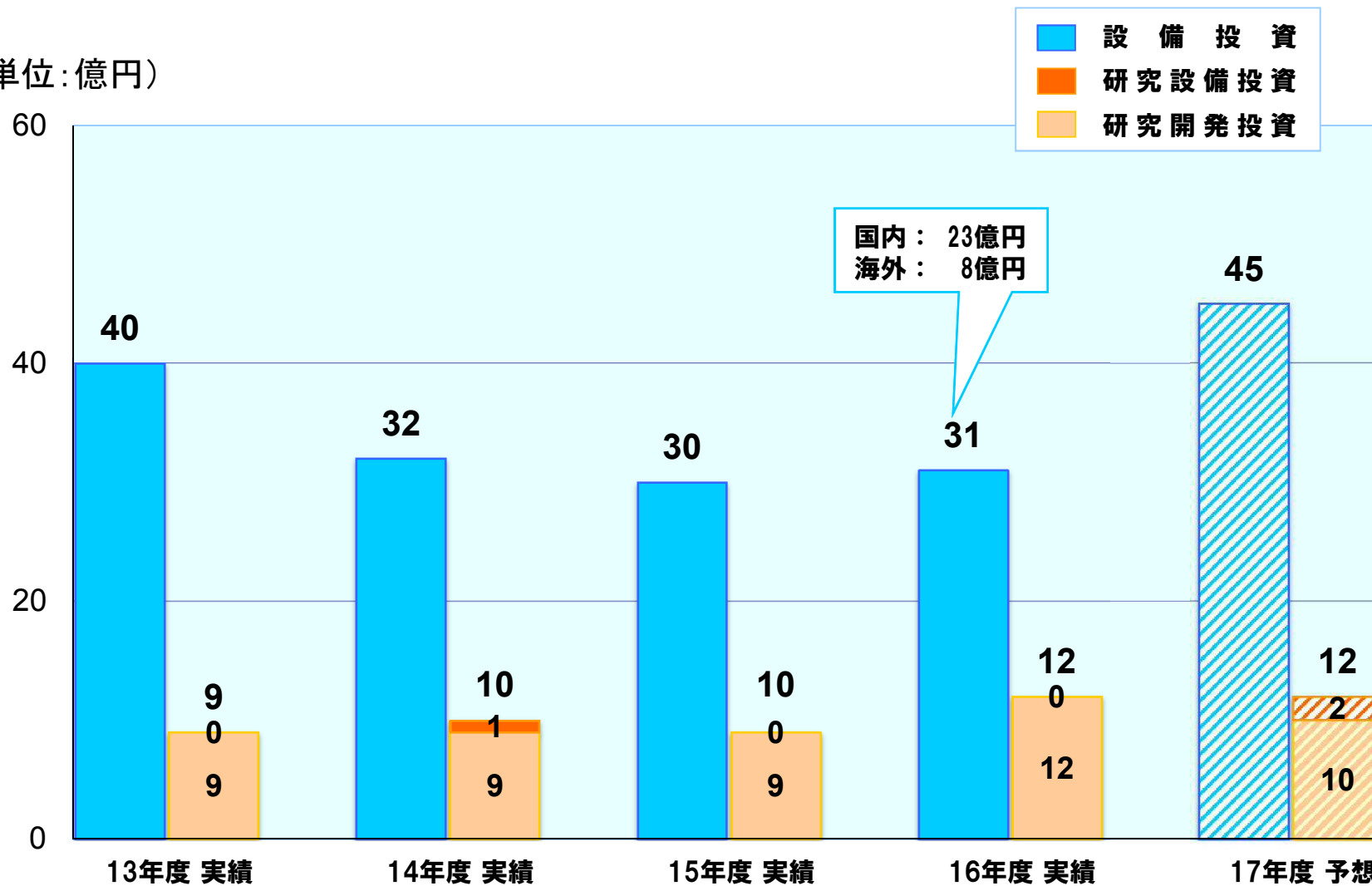
(単位: %)



7

設備投資・研究開発投資

(単位:億円)



8

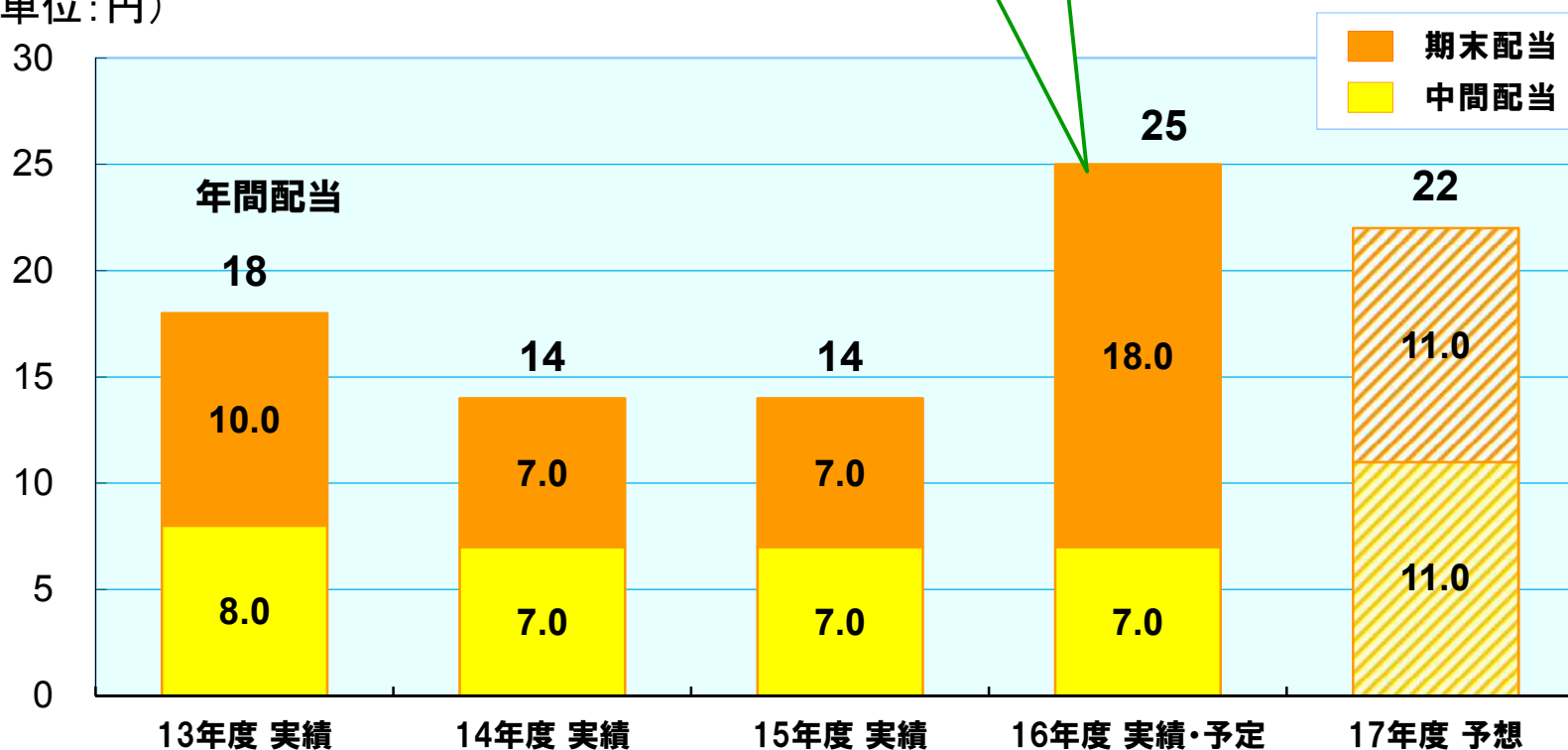
配当政策

基本方針

「安定した配当」を基本としており、当面、年10円を下限とし、「業績に応じた利益配分」については、連結配当性向30%以上を目処としています。

期末配当は、普通配当14円に設立70周年記念配当4円を加えて18円とし、中間配当7円と合わせて計25円を予定しております。

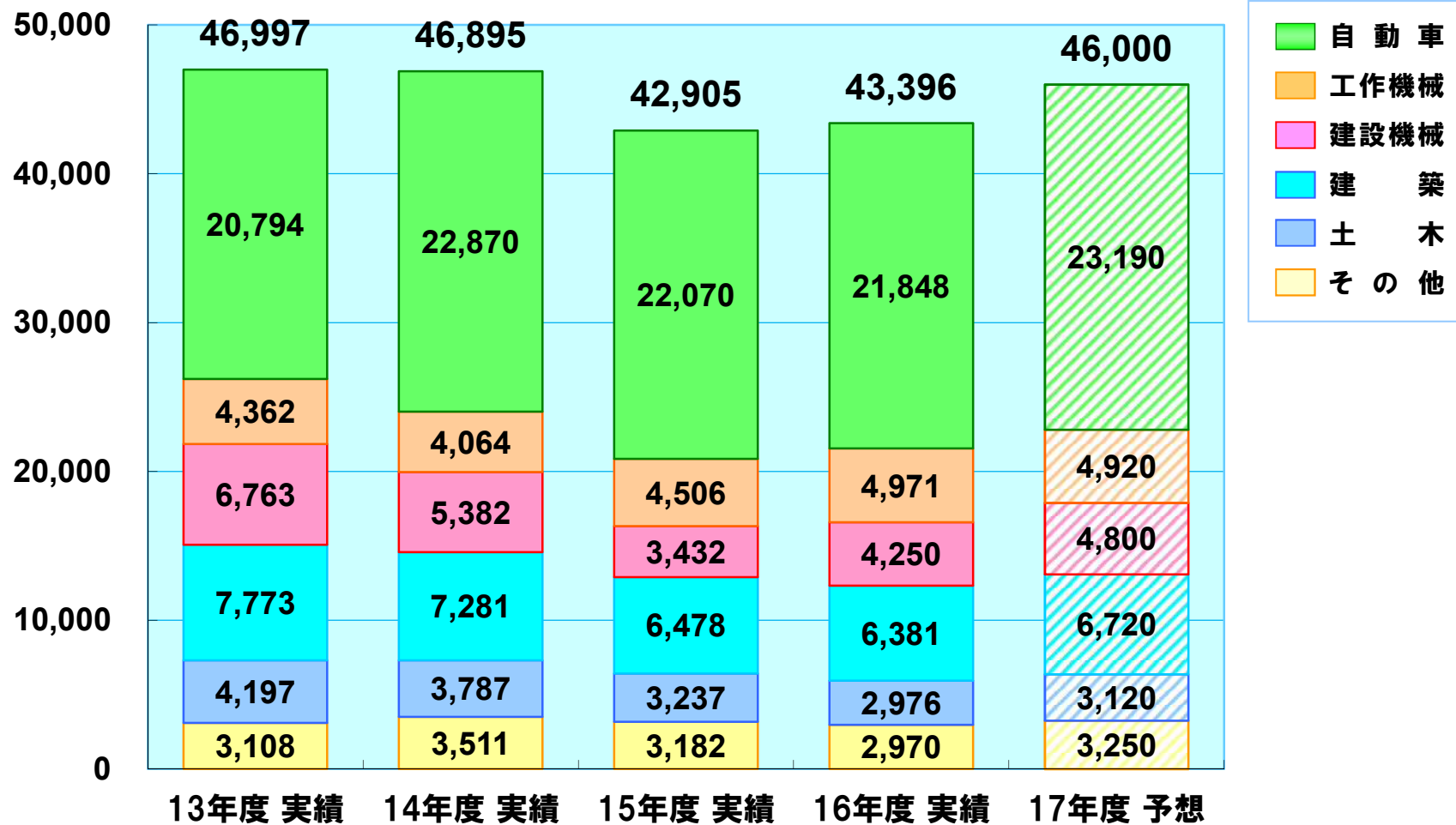
(単位:円)



9

業界別売上高

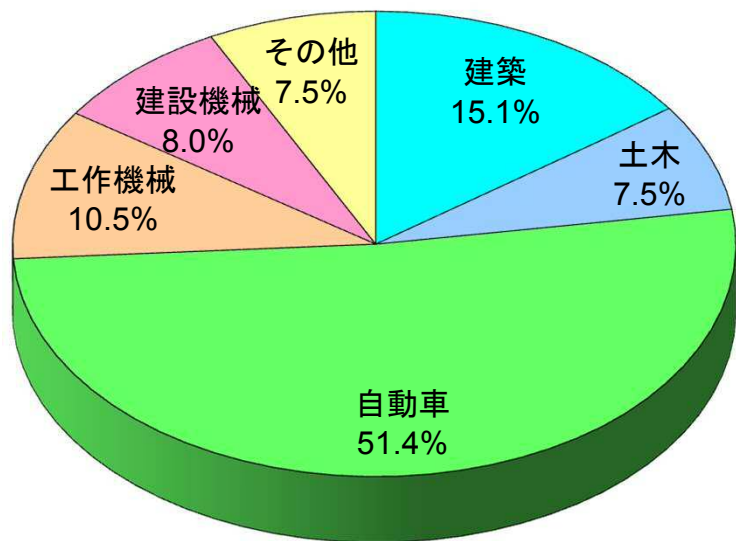
(単位:百万円)



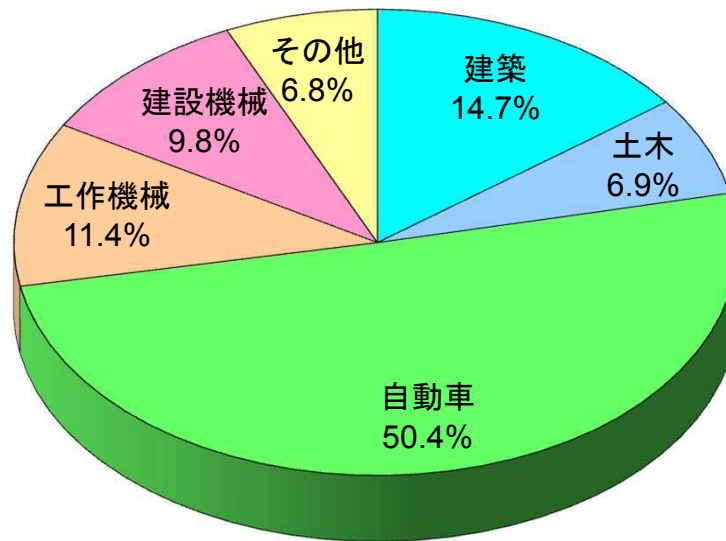
10


業界別売上高比率

2015年度実績



2016年度実績





I 経営実績の推移

II 第13次中期経営計画の状況

III 新商品・新技術の開発、新規事業の推進

IV 2017年(平成29年)3月期 連結決算の概要

11

第13次中期経営計画の状況

スローガン 「*Global Innovation 70th*」

(グローバル イノベーション セブンティース)

設立70周年(2016年5月)を迎えて、「経営」「技術」「生産」「機能」「人づくり」に関する果敢な革新の推進

[3つの柱]

第1の柱: 安全管理体制と品質保証体制の更なる拡充とグローバル展開


第2の柱: NETUREN VISION 2020ロードマップの確実な遂行

第3の柱: グローバルに活動できる人財の確保と育成

[連結目標]

	2018年3月期 計画
売上高	460億円
営業利益	34億円
営業利益率	7.4%
ROA(総資産経常利益率)	5.2%
ROE(株主資本純利益率)	5.2%

※2016年11月に見直し後の計画値による。



I 経営実績の推移

II 第13次中期経営計画の状況

III 新商品・新技術の開発、新規事業の推進

IV 2017年(平成29年)3月期 連結決算の概要

12 新技術・新商品開発(1) “浸炭+高周波熱処理”

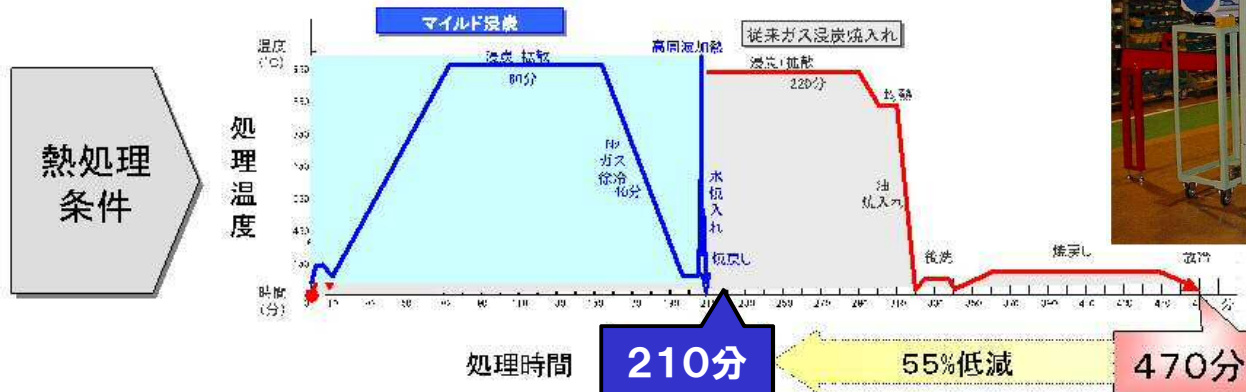
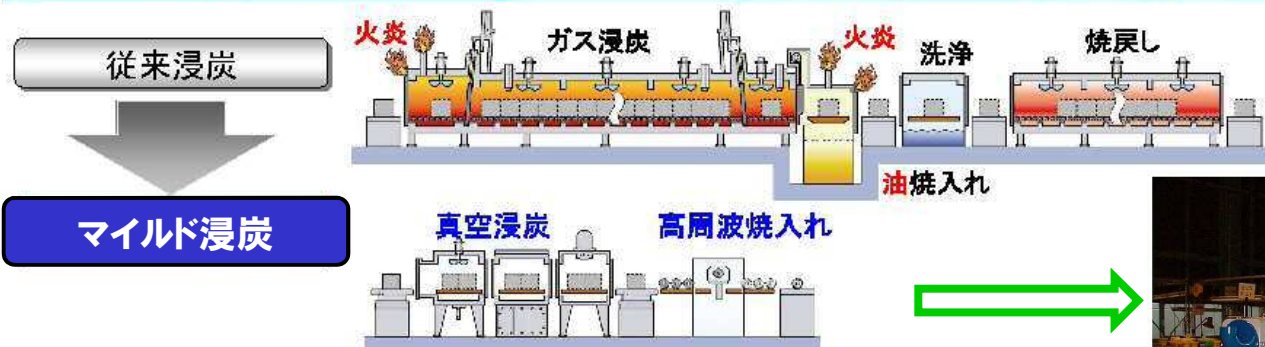
【マイルド浸炭】概要と革新性



(アシソン・エイ・ダブリュ殿
開示ご承認済)

火炎、油を必要としない環境にやさしい革新熱処理

CO₂ Δ 40% 処理時間 Δ 55% ライン長 Δ 45% 低コスト 低変形 安全 フレキシブル



マイルド浸炭用の
 Netzren製「コンパクト焼入れ機」

13

新技術・新商品開発(2) “超大型部品の高周波熱処理”



尼崎工場[2007(平成19)年10月～]
での熱処理事例



産業機械用歯車付シャフト・船舶エンジン用クランク軸
(長さ約 2,200mm) (長さ約 3,900mm)

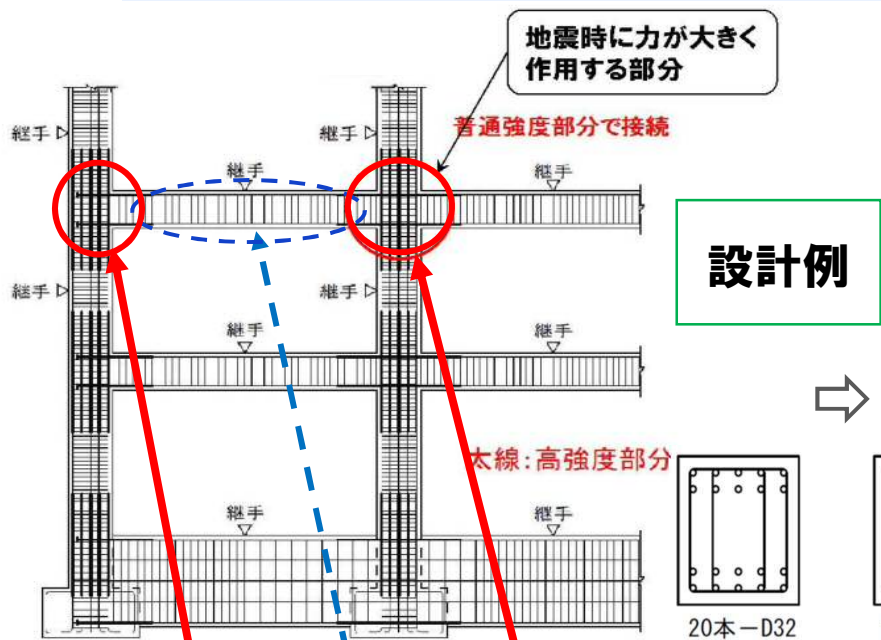
トンネルマシン用
歯車付回転ベアリング
(外径8,000mm)

製紙機械用大型ヒートロール(中空)
(直径1,350mm, 長さ9,000mm, 重さ50トン)

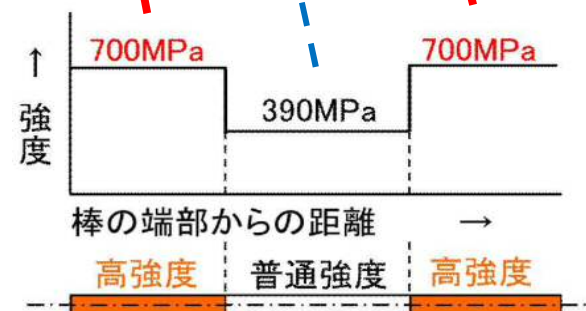
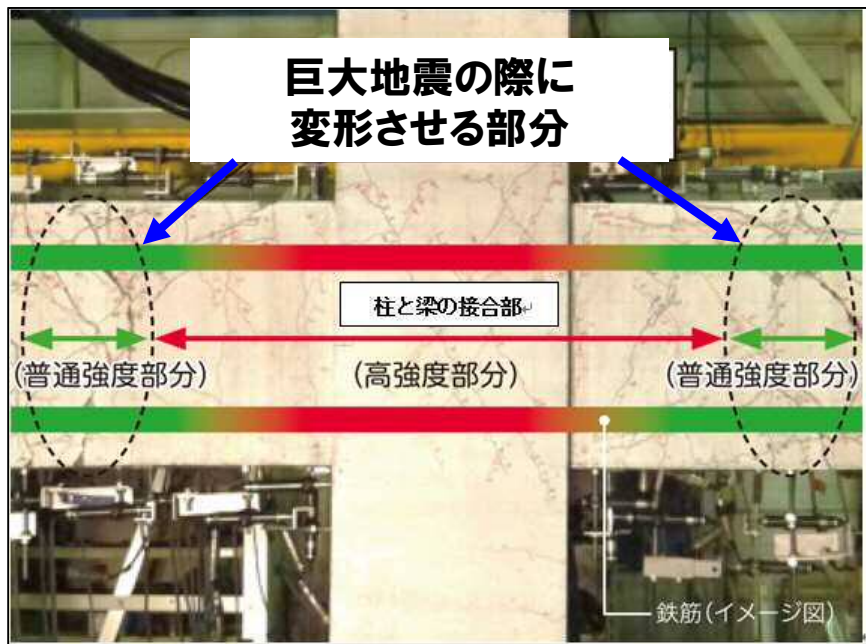
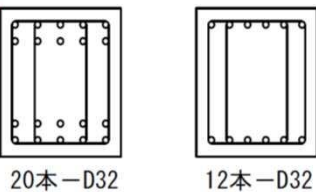
14

新技術・新商品開発(3)-① “部分高強度鉄筋”

NetzurenのIH技術を生かし構造用材料(鉄筋)の**部分高強度化**



設計例



鉄筋量を30~40%減少可能

- 2017年1月に国土交通大臣の「材料認定」を取得
- 2018年に神奈川県内の大規模集合住宅へ採用予定

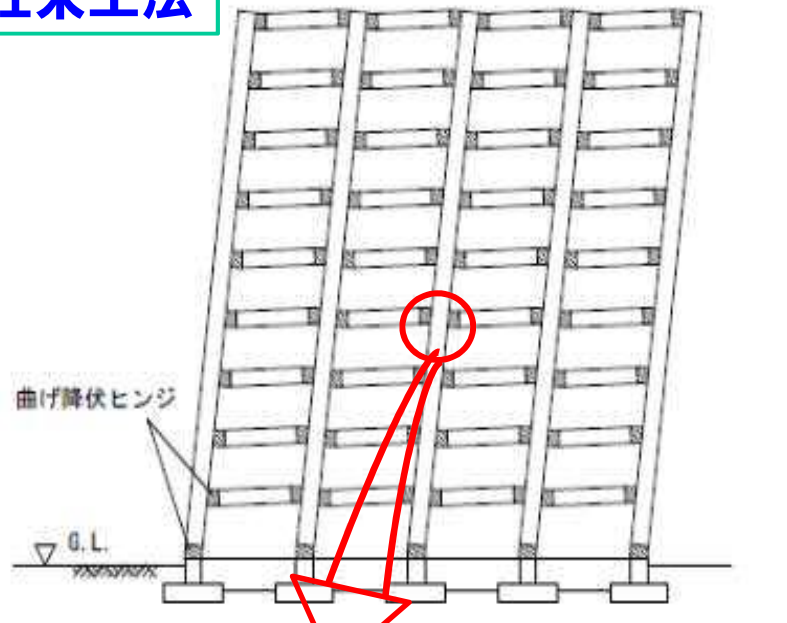
図. 部分高強度鉄筋の概念
(1本の鉄筋の中で高強度部と低強度部を併持)

15

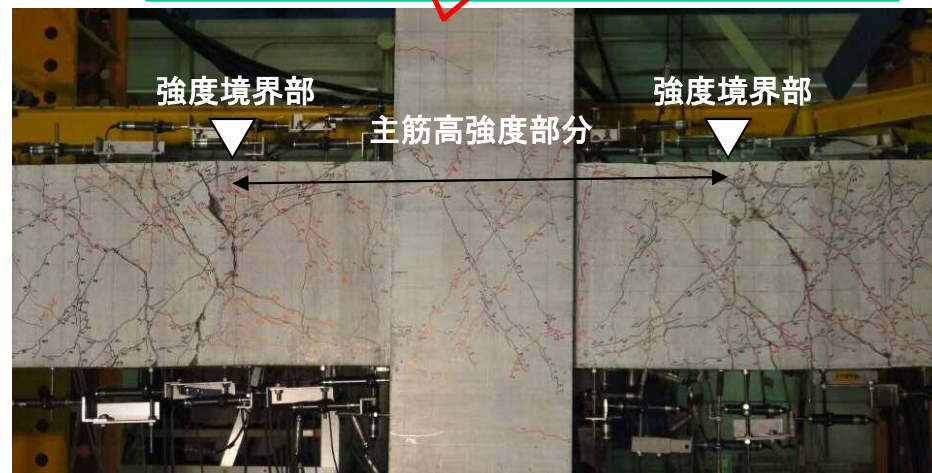
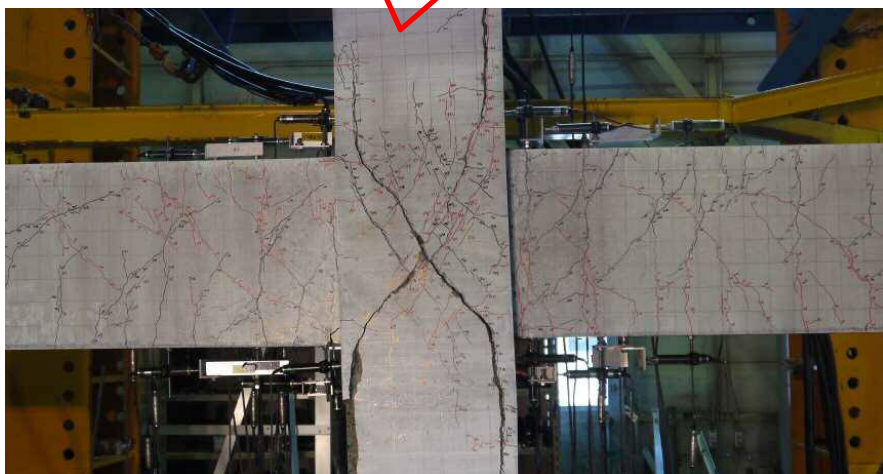
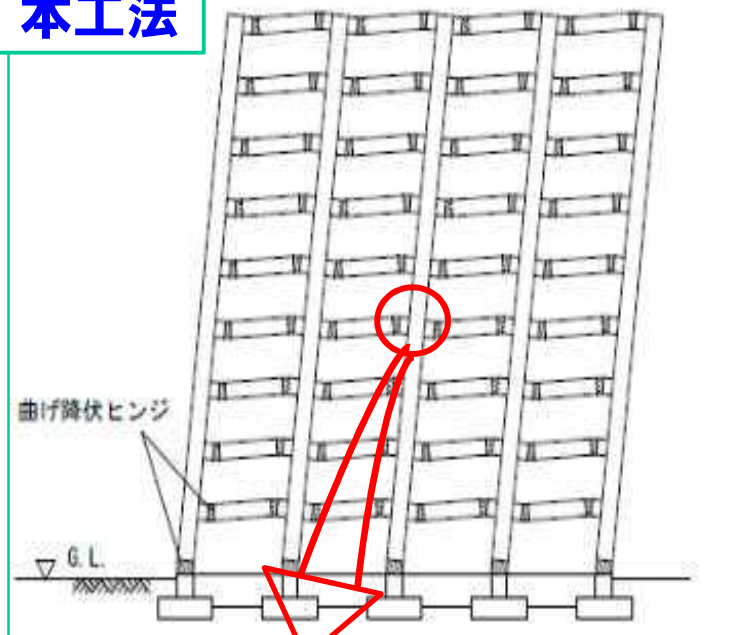
新技術・新商品開発(3)-②

“部分高強度鉄筋”

在来工法



本工法



16 グローバル事業の展開(1)

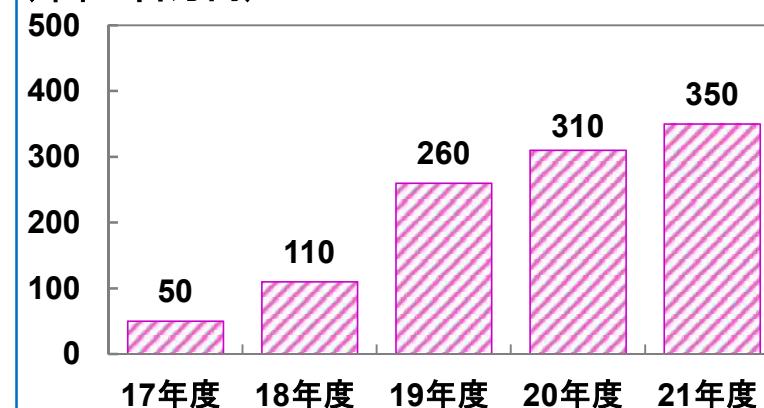
“ネツレンの固有技術を生かし、メキシコで熱処理受託加工を開始”



事業内容

- 第1ステップ 熱処理受託加工およびIH（誘導加熱）装置等の販売・サービス
- 第2ステップ 熱処理を含めた部品の一貫機械加工

(単位:百万円) メキシコ売上高計画



新会社の概要

NETUREN MEXICO, S. A. de C. V.

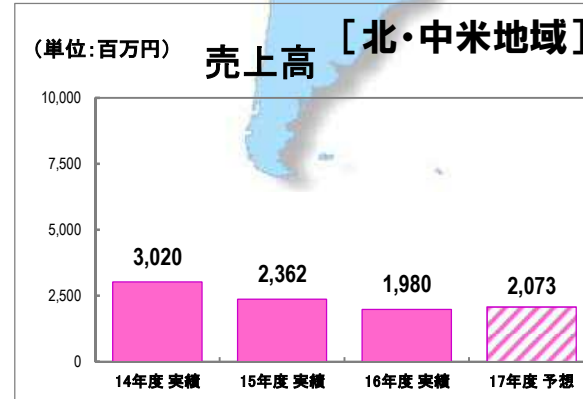
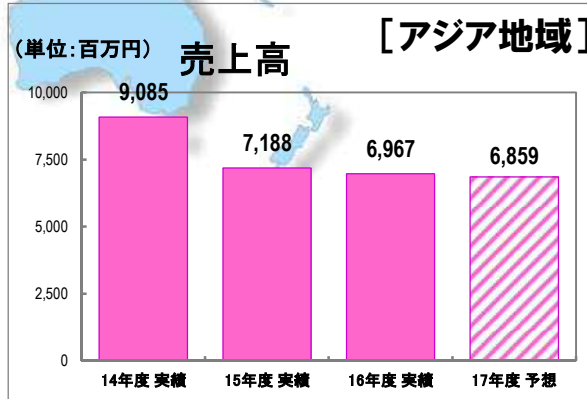
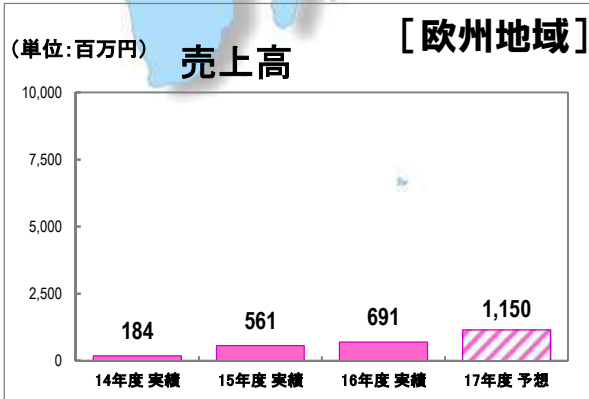
- 所在地 メキシコ合衆国アグアスカリエンテス州アグアスカリエンテス市PILA工業団地内
- 資本金 186百万メキシコペソ
- 操業開始 2016年11月



17 グローバル事業の展開(2)

“海外事業展開の現状”

5カ国 9社 (子会社)



※グループ内取引を含む。
※日本からの輸出は含まず。



18 グローバル事業の展開(3)

韓国熱錬の連結子会社化により、グローバル事業体制の強化

会社の概要

韓国熱錬株式会社

- 所在地 大韓民国慶尚北道永川市
花山面三釜洞357-2番地
- 事業内容 高周波熱処理装置製造販売・
加熱コイルの製造販売および
設備のメンテナンス
- 資本金 1,000百万ウォン
(2016年12月31日現在)
- 設立年月 1987年7月
- 当社の所有割合 追加取得前 44.8%
追加取得後 91.0%



誘導加熱装置



高周波電源装置

子会社化によるシナジー効果

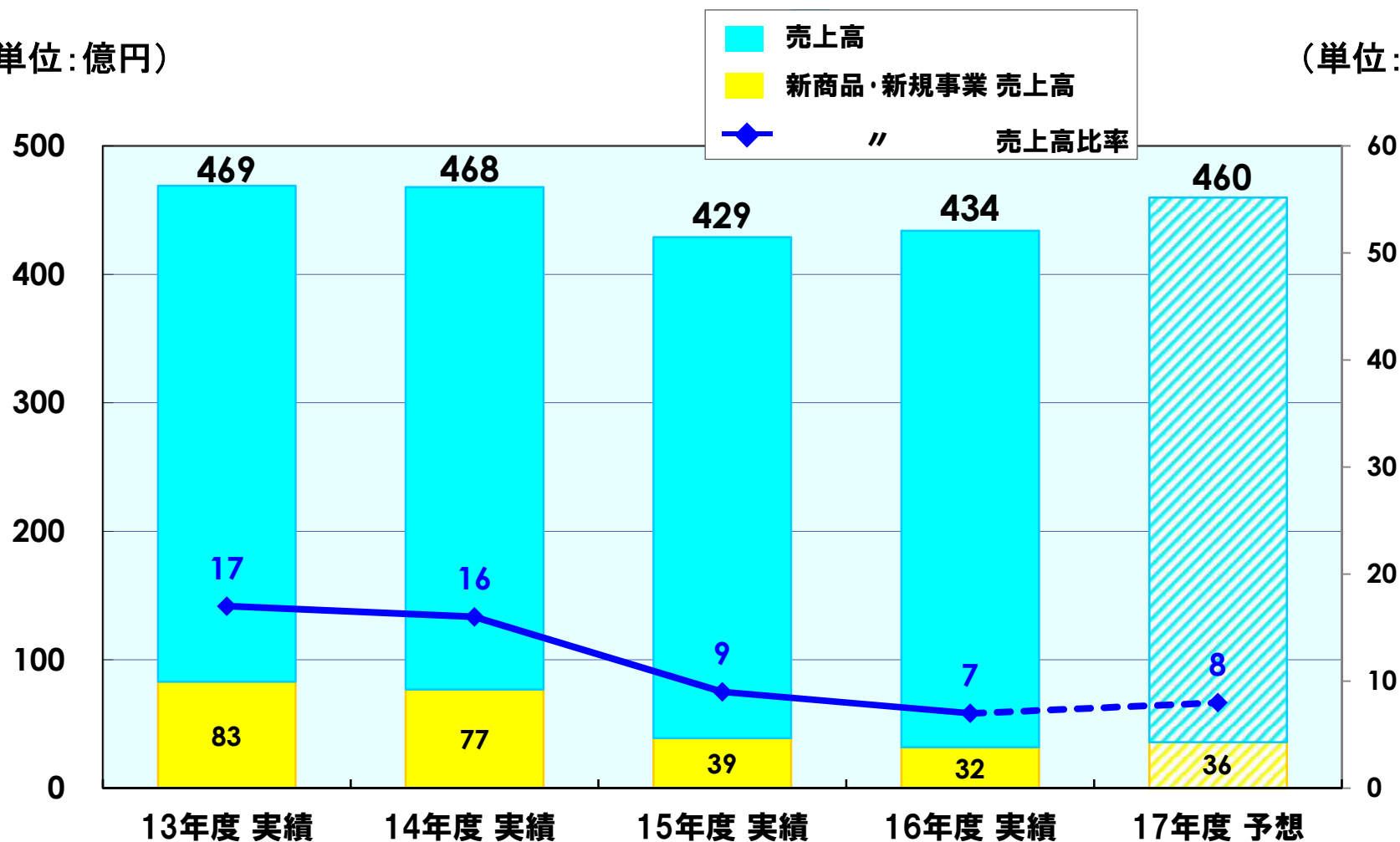
- グローバル生産・サービス拠点の1つとしてシナジー効果が期待出来る(最適な拠点での設備製造・サービス・調達)
- ネットサービスネットワークを活用し、海外進出韓国企業への積極的な事業展開が可能

19


新商品・新規事業売上高

(単位:億円)

(単位:%)



※新商品・新規事業売上高は、 Netzuren 新商品・新規事業売上基準による。



I 経営実績の推移

II 第13次中期経営計画の状況

III 新商品・新技術の開発、新規事業の推進

IV 2017年(平成29年)3月期 連結決算の概要

1. 全般

当連結会計年度におけるわが国経済は、全体的には緩やかな回復基調で推移いたしました。また、世界経済は、中国をはじめとする新興国の景気の低迷が懸念されるものの、米国や欧州においては比較的堅調に推移いたしました。

売上高 43,396百万円（前年同期比 1.1%の増収）

営業利益 3,003百万円（前年同期比 40.0%の増益）

経常利益 3,589百万円（前年同期比 30.1%の増益）

親会社株主に帰属する当期純利益

2,834百万円（前年同期は687百万円の損失）

となりました。

2. セグメント別

(1) 製品事業部関連事業

① 土木・建築関連製品

ほぼ前年同期並みの販売量を確保できました。

② 高強度ばね鋼線(ITW)

米国では減少したものの、中国・欧州および国内が堅調に推移したため、前年同期と比較し増加いたしました。

③ 損益

販売価格の低下と為替の変動などにより、売上高は減少いたしました。

また、原価低減活動などにより、営業利益は増加いたしました。

売上高 20,582百万円（前年同期比 3.7%の減収）

営業利益 1,602百万円（前年同期比 34.2%の増益）

(2) IH事業部関連事業

①熱処理受託加工関連

建設機械向けの受注が回復してきたこと、自動車向けの受注が堅調に推移したことにより、前年同期と比較し増加いたしました。

②建設機械部品関連

国内・中国ともに受注が回復してきたことにより、前年同期と比較し増加いたしました。

③自動車部品関連

国内の販売量が伸び悩んだものの、前年同期並みの売上を確保できました。

④誘導加熱装置関連

中国や国内での受注が減少したことなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。

⑤損益

売上高 22,689百万円（前年同期比 6.0%の増収）

営業利益 1,342百万円（前年同期比 50.1%の増益）

(3) その他

①不動産賃貸事業等

小規模ではありますが、安定的に業績に寄与しております。

②損益

売上高	124百万円	(前年同期比	0.8%の減収)
営業利益	58百万円	(前年同期比	1.5%の増益)

3. 財政状況

先行き不透明感が強い中、フリーキャッシュ・フローの黒字、実質的な無借金経営、高い自己資本比率など、健全かつ強固な財務体質を維持しています。

(単位:百万円・%)

	2016年 3月期	2017年 3月期	増 減	増減率 (%)
売 上 高	42,905	43,396	490	1.1
営 業 利 益	2,145	3,003	857	40.0
経 常 利 益	2,758	3,589	831	30.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 687	2,834	3,521	-
R O A	3.5	4.7	1.2	-
R O E	△ 1.2	5.0	6.2	-

26

2017年3月期 第4四半期 連結決算(単独期間)の要点(7)

(単位:百万円)

	2016年 3月期	2017年 3月期	2017年 3月期	前年同期比		直前四半期比	
	第4四半期	第3四半期	第4四半期	増減額	増減率(%)	増減額	増減率(%)
製品事業部関連事業	5,312	4,918	6,135	822	15.5	1,216	24.7
IH事業部関連事業	5,836	5,028	7,057	1,220	20.9	2,028	40.3
その他	30	31	31	0	0.8	△0	△0.7
売上高	11,180	9,978	13,223	2,043	18.3	3,245	32.5
製品事業部関連事業	362	401	551	188	51.9	149	37.3
IH事業部関連事業	469	203	807	338	72.1	603	297.0
その他	14	14	15	0	6.5	0	6.3
営業利益	846	619	1,374	527	62.3	754	121.8
経常利益	983	882	1,558	574	58.4	675	76.6
四半期純利益	△1,806	671	1,324	3,131	-	653	97.2

(単位:百万円)

事業区分	主な製品	2016年 3月期	2017年 3月期	増 減	増減率 (%)
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	21,383	20,582	△ 800	△ 3.7
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品 建設機械部品	21,397	22,689	1,292	6.0
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	125	124	△ 0	△ 0.8
合 計		42,905	43,396	490	1.1

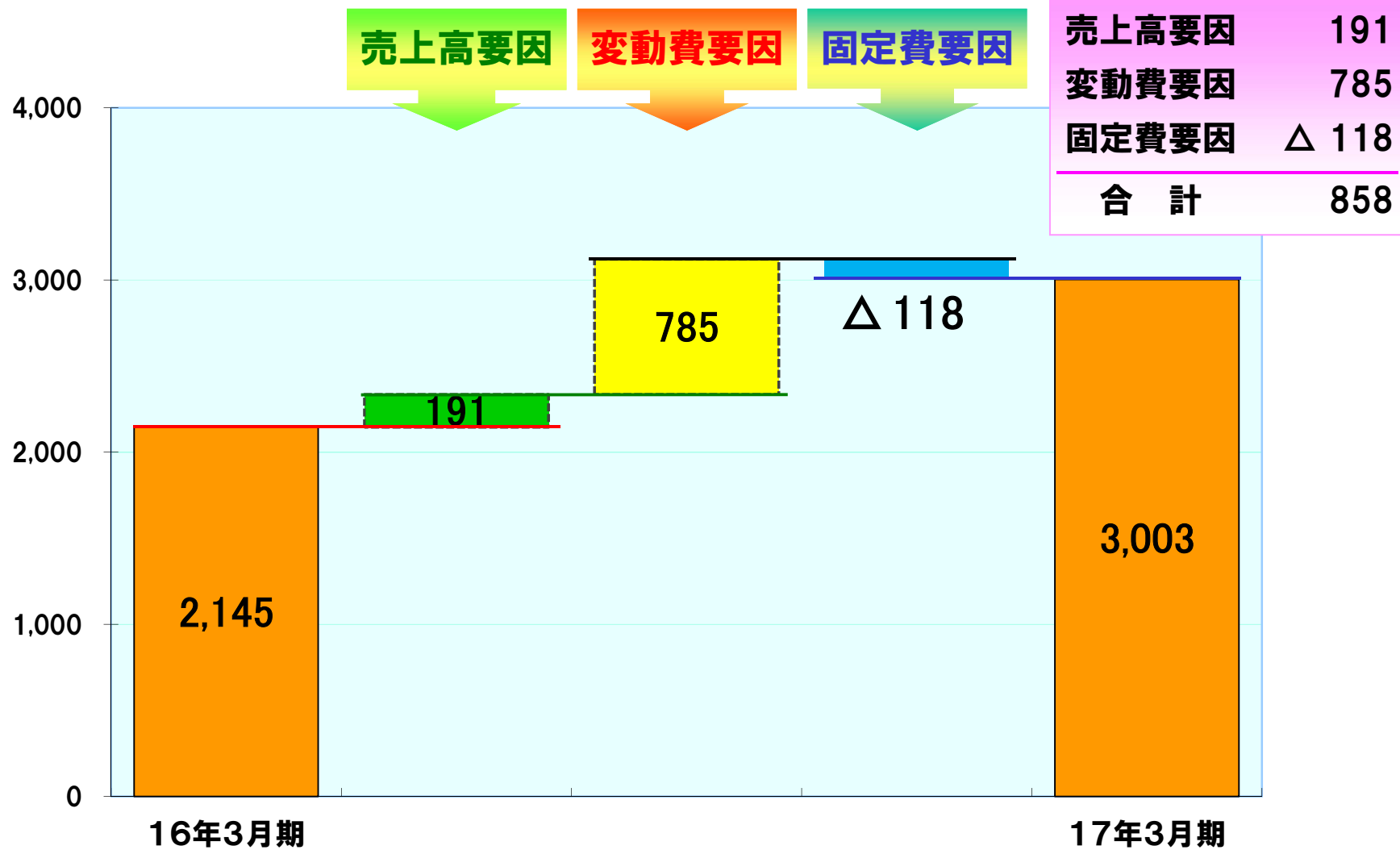
(単位:百万円)

事業区分	主な製品	2016年 3月期	2017年 3月期	増 減	増減率 (%)
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	1,193	1,602	408	34.2
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品 建設機械部品	894	1,342	448	50.1
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	57	58	0	1.5
合 計		2,145	3,003	857	40.0

29

連結營業利益増減内容

(単位:百万円)

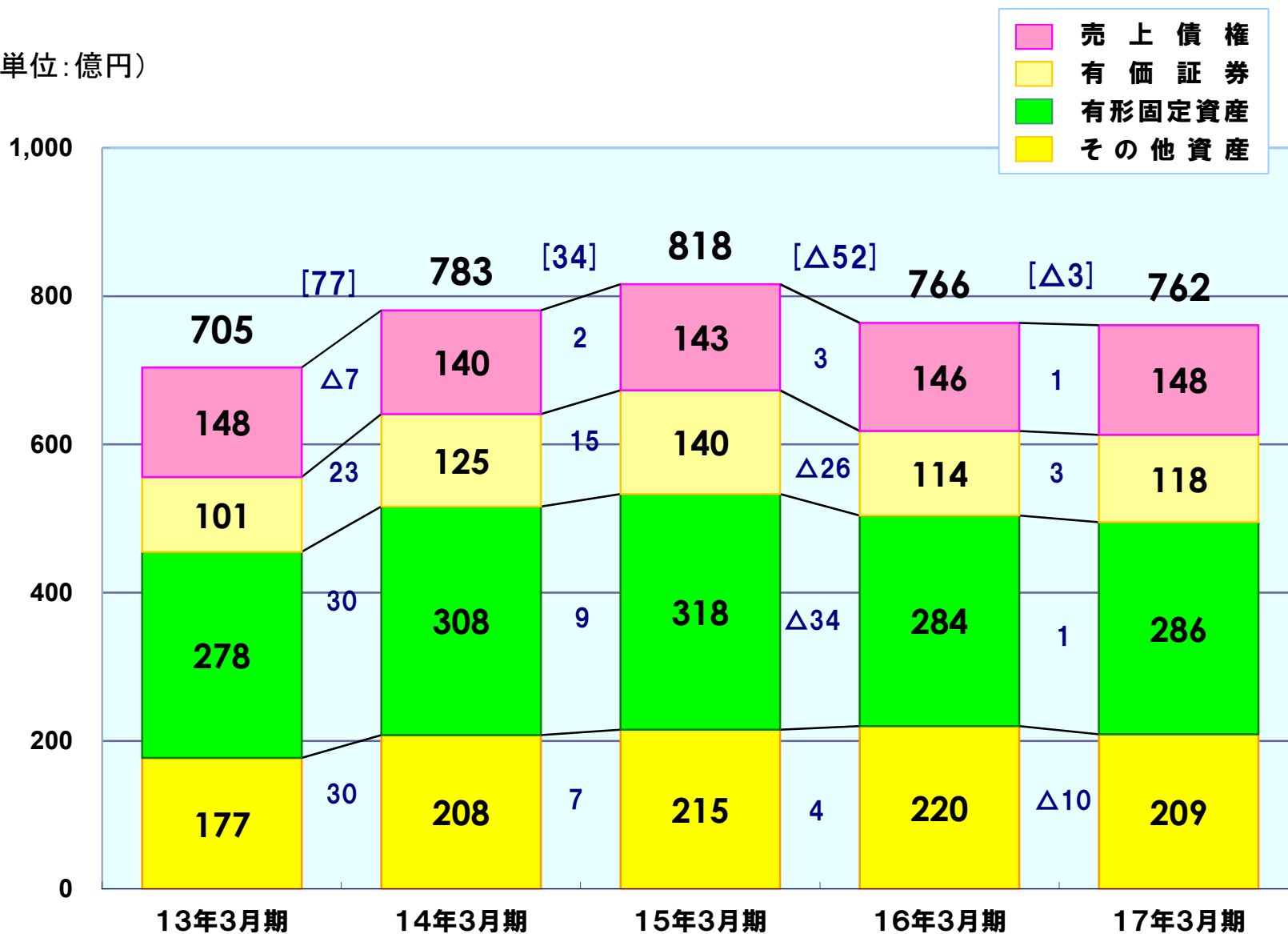


(単位:百万円)

科目	期別	2016年 3月期	2017年 3月期	増減	増減率(%)
売上高		42,905	43,396	490	1.1
売上原価		34,168	33,147	△ 1,021	△ 3.0
売上総利益		8,737	10,249	1,511	17.3
販売費及び一般管理費		6,591	7,245	654	9.9
営業利益		2,145	3,003	857	40.0
営業外収益		803	673	△ 130	△ 16.3
営業外費用		191	87	△ 104	△ 54.3
経常利益		2,758	3,589	831	30.1
特別利益		770	232	△ 538	△ 69.8
特別損失		3,149	101	△ 3,047	△ 96.8
税金等調整前当期純利益		379	3,720	3,340	880.5
法人税、住民税及び事業税		923	833	△ 89	△ 9.7
法人税等調整額		△ 131	△ 209	△ 77	-
当期純利益		△ 411	3,096	3,508	-
(内訳)					
親会社株主に帰属する当期純利益		△ 687	2,834	3,521	-
非支配株主に帰属する当期純利益		275	261	△ 13	△ 4.9

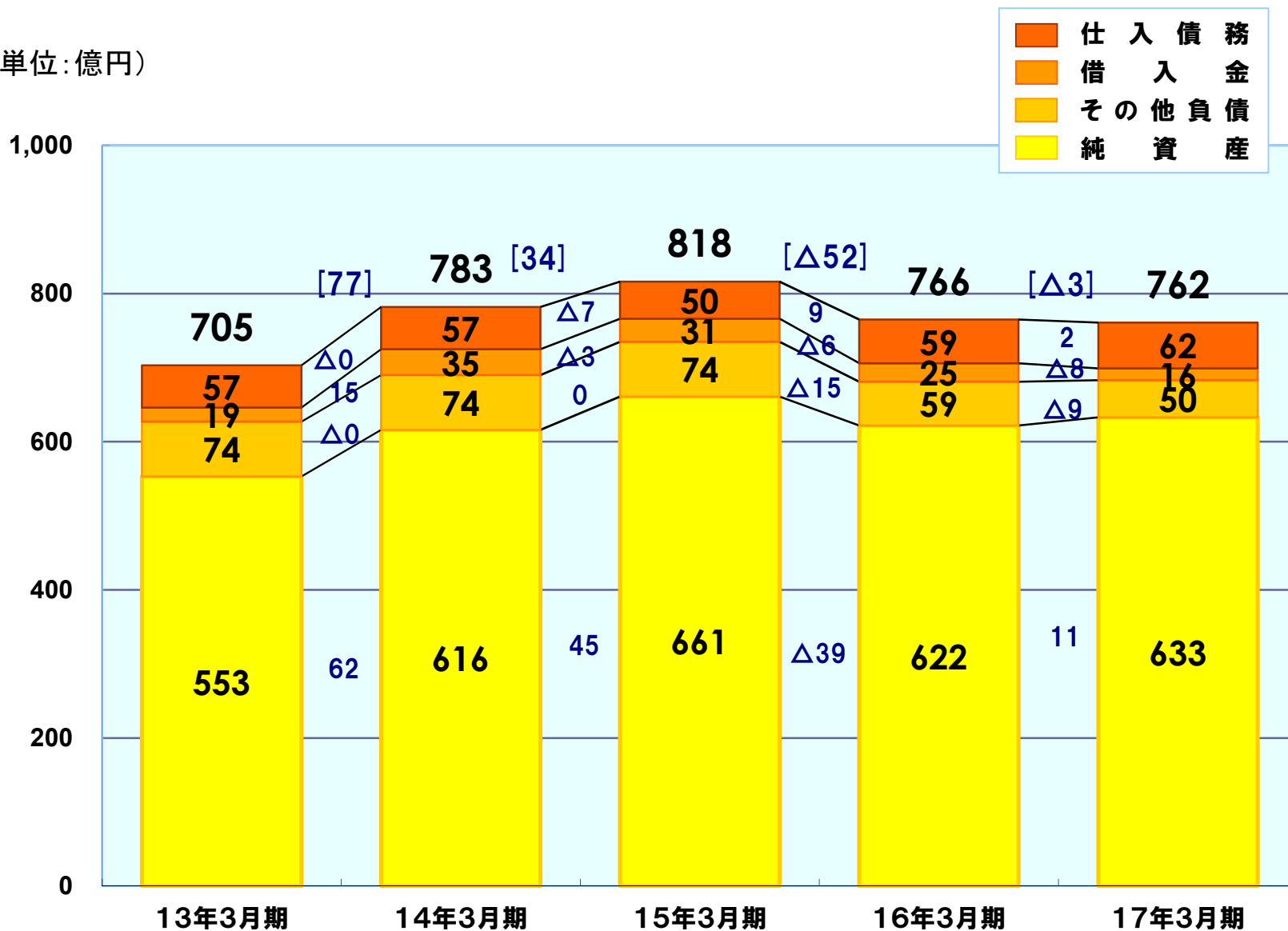
2017年3月期 資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



2017年3月期 負債・純資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



(単位:百万円)

科 目	2016年 3月期	2017年 3月期	対前年同期比 増 減
税金等調整前当期純利益	379	3,720	3,340
減価償却費	2,930	2,739	△ 190
減損損失	3,102	11	△ 3,090
売上債権の増減	△ 534	△ 433	100
仕入債務の増減	1,019	368	△ 651
その他	△ 2,322	△ 1,421	901
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,574	4,985	410
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,442	△ 3,263	△ 820
フリーキャッシュ・フロー	2,132	1,721	△ 410
借入金	△ 647	△ 861	△ 214
自己株式の取得	△ 0	△ 872	△ 872
配当金の支払額	△ 596	△ 596	0
その他	△ 149	△ 258	△ 109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,393	△ 2,589	△ 1,195
キャッシュ・フロー期末残高	14,054	13,098	△ 956

34

2017年3月期 キャッシュ・フロー関連指標(連結)

(単位: %)

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期
① 自己資本比率	73.1	72.1	73.5	73.6	75.5
② 時価ベースの自己資本比率	42.9	35.8	46.4	42.5	49.4
③ キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.4	0.6	0.7	0.5	0.3
④ インタレスト・カバレッジ・レシオ	69.9	78.2	68.2	80.5	126.7

1. 全般

国内外の景気動向は緩やかに回復基調で推移しているものの、先行きの不透明感は払拭されておりません。

このような状況のもと、第13次中期経営計画「*Global Innovation 70th*」に掲げた業績目標の達成を図ってまいります。

売上高	46,000百万円	(前年同期比	6.0%の増収)
営業利益	3,400百万円	(前年同期比	13.2%の増益)
経常利益	4,000百万円	(前年同期比	11.4%の増益)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,000百万円	(前年同期比	5.8%の増益)

2. セグメント別

(1) 製品事業部関連事業

① 土木・建築関連製品

高強度せん断補強筋およびPC鋼棒の受注量が増加すると予想しております。

② 高強度ばね鋼線(ITW)

国内受注量は、ほぼ前年並みに推移すると予想しております。海外受注量は増加するも、為替の影響および現地材使用率増加により、売上高は前年並みと予想しております。

③ 損益

売上高	21,200百万円	(前年同期比)	3.0%の増収)
営業利益	1,700百万円	(前年同期比)	6.1%の増益)

(2) IH事業部関連事業

①熱処理受託加工関連

主として自動車業界からの受注量が堅調に推移すると予想しております。

②建設機械部品関連

国内・中国とも受注量が増加すると予想しております。

③誘導加熱装置関連

主として自動車業界からの受注量が増加すると予想しております。

④自動車部品関連

中空ラックバーは、受注量は減少すると予想しております。

⑤損益

売上高	24,680百万円	(前年同期比	8.8%の増収)
営業利益	1,640百万円	(前年同期比	22.2%の増益)

(3) その他

売上高 120百万円（前年同期比 3.2%の減収）

営業利益 60百万円（前年同期比 3.4%の増益）

(単位:百万円)

事業区分	2017年 3月期	2018年 3月期 (予想)	増減	増減率 (%)
製品事業部 関連事業	20,582	21,200	617	3.0
IH事業部 関連事業	22,689	24,680	1,990	8.8
その他	124	120	△4	△3.2
合計	43,396	46,000	2,603	6.0

(単位:百万円)

事業区分	2017年 3月期	2018年 3月期 (予想)	増減	増減率 (%)
製品事業部 関連事業	1,602	1,700	97	6.1
IH事業部 関連事業	1,342	1,640	297	22.2
その他	58	60	1	3.4
合計	3,003	3,400	396	13.2

41

連結設備投資額

(単位:百万円)

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期 (予想)
設備投資額	3,232	3,088	3,167	4,500
減価償却費	2,967	2,930	2,739	2,800



(注)当資料に記載の将来に関する予想数値は、公表時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。